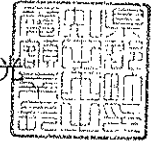




19 幸都第33号
平成19年 5月 1日

国土交通省道路局長 殿

幸田町長 近藤 徳 光



中期的な計画の策定にあたっての意見について (回答)

貴職におかれましては、当地区の道路事業推進に対し格段のご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

本町では、名豊道路岡崎バイパス（幸田芦谷 IC～幸田須美 IC）の全線開通、道の駅（簡易パーキングエリア）の工事着手、蒲郡バイパスの整備区間指定、名浜道路（碧南市～幸田町間）の調査区間指定等、道路事業が推進されており重ねてお礼申し上げます。

さて、平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありました、見出しの件については下記のとおりですのでよろしく願いたします。

記

1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

自立した地域実現、時間短縮による生活圏の拡充、慢性化した交通渋滞による環境負荷の低減等を図るため、周辺都市、空港、港湾、高速道路等の拠点施設へのアクセス道路である高規格幹線道路の整備促進を図りたい。

「名豊道路」は、名古屋港、衣浦港、三河港、中部国際空港など重要拠点へのアクセス道路として交通・物流を支援し、また、名古屋、豊橋間の地域連携と交流を促進すると同時に高速インターチェンジ、国土軸への広域アクセス機能を持つ重要路線です。本町では、今年3月の岡崎バイパス全線開通により、企業の立地が計画される等その効果が発揮されている。引き続き蒲郡バイパスの整備促進を図りたい。

「名浜道路」は、中部国際空港を始めとする重要拠点への三河南部地域からのアクセス強化を図ると共に、地域連携と交流を促進する重要路線です。今年、碧南市～幸田町間が調査区間指定され事業化に向け第一歩が踏み出された。当路線については、さらに広域性を図るべく北進させ東名岡崎インターまでの計画とされたい。

2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- (1) 経済構造改革などの緊急課題に対応し、重点投資分野を明確にすること。
- (2) 国の重要課題である地域の活性化に重点を置いた道路政策とすること。
- (3) 他省庁との積極的な連携を図り、的確な道路政策とすること。

3 その他、道路政策や道路の整備・管理に全般に関する意見

- (1) 地方は、社会資本の整備が不十分であり、高規格幹線道路等の整備による地方の自助、自立を強力に支援されたい。
- (2) 利用者の意見を反映した道造りをされたい。